

わが町と 交通機関のあるべき姿は

利便性の向上のため 要望活動を継続していく

町長、総務担当参事

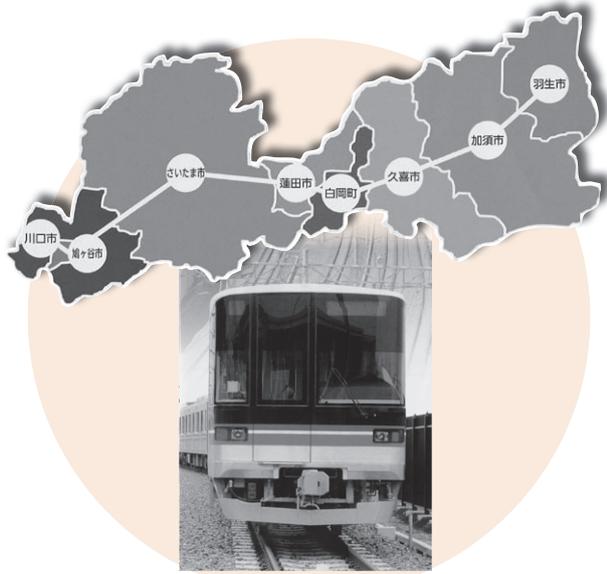
問 通勤通学者にとつて必要不可欠な要件は交通手段の確保でありより高い便索性である。そこで次の項目で問う。特に(4)は蓮田市との共同作業であり、

両市町の将来を考える時、お互い極めて重要な案件と考えるが。
(1)宇都宮線野駅から東京駅への乗り入れ、早期実現は。(2)湘南新宿ラインの



興 淳明 議員
(松友会)

増便、更に小田原まで延伸する見通しは。(3)地下鉄7号線の現状および進捗状況は。(4)白岡駅・蓮田駅間に新駅設置の考え、構想は。



地下鉄7号線

答

現在上野駅止まりの宇都宮・高崎・常磐線を東京駅まで乗り入れる東北縦貫線は、平成25年度の完成予定である。これにより、小田原駅のある東海道線への直通運転が可能となる。地下鉄7号線は、運輸政策審議会で浦和美園から岩槻を経由し蓮田までの延伸について答申が出ている。早期実現に向け、今後もJRや国などへ要望していく。新駅設置については、長期的なまちづくりの展望の中では、検討の必要性を認識している。

白岡・新白岡駅 構内施設の有効利用を

駅施設の有効利用を 検討する

町長、総務担当参事

問

白岡駅・新白岡駅両駅構内で当町が利用できる部分について有効活用はできないものか。具体的には観光協会、商工会、味彩センター、スポーツ関係団体、教育関係などいろいろな機関で、例えば宣伝媒体として利用価値を上げることも考えられるのではないか。町の担当課が直接運営管理するもよし、ふさわしい関係機関に委託するもよし、要は自由闊達な発想に基づく町有財産の有効活用という事で執行部当局の見解を問う。



白岡駅ミニギャラリー

答

当町には2つの駅があり、駅自由通路には、町の掲示板、町内施設などの案内マップ、白岡駅では、写真や絵画などの作品を展示するミニギャラリーが設置されている。毎日、大勢が利用する駅の施設を有効に活用し、特に観光などに

かかる町の魅力を町民や町外のかたに知ってもらうことは、まちづくりにおいてたいへん有意義なことである。町からの情報提供のほか、観光協会などによる活用については、その目的を勘案し、検討していく。

ほかに「高齢者向け印刷物に対する配慮について」の質問がありました。



細井 公 議員
(白 新 会)

街路灯の照度改善策は

LED防犯灯の設置を 今後検討する

総務担当参事

Q&A

一般質問

問 白岡・新白岡両駅から住宅密集地域までの生活道路は、夜間照明が暗く多くの住民が不便を感じている。
LED照明を用いれば、より明るくなり、従来の費用に比べ大幅に経費が削減できるときいている。

答 LED防犯灯については、今後、防犯灯の老朽化にともなう器具の交換など、設置にかかる費用対効果など設置市町の検証などを勘案し、また、温暖化防止などの面への配慮も念頭に置き、設置について検討していく。

また、防犯活動として、家庭の門灯や玄関灯を朝まで点灯するというボランティア運動である「一戸一灯運動」に取り組んでいる。
防犯灯未設置区域では有効であり、引き続きこの運動を呼びかけていきたい。



工事などにもなう 道路補修は

事業者とさらに 協議をしていく

産業建設担当参事

問 都市ガスの整備などにより、民間業者が町道を掘り、地中に設備を埋設する作業が、町内各地で行われている。
工事後には、再舗装が行われているが、従来の舗装との境目が段差になるところがある。

答 ガス管などの埋設工事は、道路法に基づくもので、町への申請書類審査後に許可条件を付して許

可している。この条件に、道路幅員により舗装の復旧範囲を定めており、本復旧完了後に完了検査を行う。仮復旧が悪いとの指摘箇所については、事業者に対し指導を行っている。また、仮復旧期間を経過した場所は、本復旧を速やかに行うよう指示している。今後もガス事業者に対し許可条件を見直すなど、さらに協議をしていく。

